

きょうと 京図



京都市図書館情報誌

関西から



本で広がる世界 本でふくらむ夢

平成30年2月発行

ものがたり



平昌大会開幕特集

パラリンピック ヒストリー

パラアスリートたちのキセキ
その熱き戦いを知る



目次

- ② ③ 特集 …… パラリンピック・ヒストリー
- ④ 連載 …… ご存知ですか？使って便利な京都市図書館
- ⑤ 連載 …… 図書館の本棚から司書がすすめるこの1冊
- ⑥ 図書館の特色紹介 …… 洛西図書館
- ⑦ 図書館小特集 …… レファレンスこぼれ話
- ⑧ 利用者の声 …… おもしろかった本

あなたの好奇心に応える

vol.46

すころくで楽しむ パラリンピック・ヒストリー

スタート

1924年

世界初の障害者の国際スポーツ組織「国際ろう者スポーツ連盟(CISS)」創立

同年、第1回国際ろう者スポーツ競技大会(第1回夏季デフリンピック競技大会)、パリで開催。

1944年

イギリスのストーク・マンデビル病院内に脊髄損傷科が設立、グットマン博士が初代科長に

戦争で身体に障害を負った兵士の治療(リハビリテーション)のため、スポーツを積極的に取り入れる。

1948年

ストーク・マンデビル病院内で、車いす患者によるアーチェリー大会開催

第14回オリンピック(ロンドン大会)と同じ日に行われ、パラリンピックの原点となる。

1952年

第1回国際ストーク・マンデビル大会開催

毎年行なわれていたストーク・マンデビル病院でのアーチェリー大会に、オランダの選手が参加し国際化。

1960年

第9回国際ストーク・マンデビル大会(第1回夏季パラリンピック)ローマ(イタリア)で開催

国際ストーク・マンデビル大会委員会が設立。オリンピック後に同じ都市で大会を実施することを決定。第1回大会には、23か国が参加。

1976年

トロント(カナダ)で開催された第5回パラリンピック夏季競技大会にて、車いす使用者以外の選手が正式参加

第1回冬季大会に続き、切断者と視覚障害者が出場。



1976年

第1回パラリンピック冬季大会、エンシェルトヴィーク(スウェーデン)で開催

切断者と視覚障害者によるスキー大会。

日本人選手2名、非公式に参加!

1972年 第4回

ハイデルベルグ(旧西ドイツ)大会



1回休んで読んでみて!

視点を変えて見るパラリンピック!



『希望をくれた人』

パラアスリートの背中を押したプロフェッショナル

宮崎 恵理 著
(協同医書出版社)

理学療法士や義肢装具士など、支える立場から障害者アスリートを描くスポーツノンフィクション。

1968年 第3回

テルアビブ(イスラエル)大会



1964年

第2回パラリンピック夏季競技大会、東京(日本)で開催

正式名称は第13回国際身体障害者スポーツ大会(第1部が車いす選手による国際大会、第2部は視覚や聴覚に障害のある選手による国内大会)。第2回パラリンピック大会と認められているのは第1部。

日本初参加!



1回休んで読んでみて!

パラリンピック基本のキ!



『パラリンピック大事典』

和田 浩一 監修/堀切 功 監修協力
(金の星社)

パラリンピックをフルカラービジュアルで紹介。大会の全体像を掴むことができる、子どもにも分かりやすい内容。

1980年 第2回
ヤイロ(ノルウェー)大会

1980年 第6回
アーネム(オランダ)大会

1984年 第3回
インスブルック(オーストリア)大会

1984年 第7回
ニューヨーク(アメリカ)大会
ストーク・マンデビル(イギリス)大会

1985年
大会の正式名称「パラリンピック」決定
下半身まひ者の(paraplegia's)オリンピックの
意味から、「もうひとつの(parallel)オリンピック」
を表す合成語として使われるようになった。

1988年 第4回
インスブルック(オーストリア)大会

1988年
ソウル(韓国)の第8回大会よりオリンピック
と連動、両大会が同じ会場で開催
車いす・義肢などを無料で修理できる工場が整備。

1989年
国際パラリンピック委員会(IPC)創設
1960年以降の主要な障害者スポーツの国
際大会を、正式に「パラリンピック」と改称。

1992年 第5回
アルベールビル(フランス)大会

1992年 第9回
バルセロナ(スペイン)大会

1994年
オリンピックと同様、夏季と冬季の
大会が2年おき、交互の開催となる
IPC主催の初めてのパラリンピック・第6回
大会、リレハンメル(ノルウェー)で開催。

2008年
北京(中国)で開催された第13回大会より、
オリンピック・パラリンピック両大会組織委
員会、ひとつになって運営
選手村も同じ場所を使用。

2006年 第9回
トリノ(イタリア)大会

2004年 第12回
アテネ(ギリシャ)大会

2002年 第8回
ソルトレークシティ(アメリカ)大会

2010年 第10回
バンクーバー(カナダ)大会


2012年 第14回
ロンドン(イギリス)大会

2014年 第11回
ソチ(ロシア)大会

2016年 第15回
リオデジャネイロ(ブラジル)大会


1回休んで
読んでみて!
様々な人間
ドラマが?!

『パラリンピックの楽しみ方』
ルールから知られざる歴史まで
藤田 紀昭 著 (小学館)



パラリンピックをより深く知るための観戦入門書。感動から驚愕まで各大会の知られざるエピソードが満載。

『パラリンピック大百科』
Paralympic unabridged dictionary
日本障がい者スポーツ協会協力/
陶山 哲夫 監修/
コンデックス情報研究所 編著
(清水書院)



パラリンピックのことならこの1冊。大会の意義・歴史・ルール・記録などのほか、2020年の東京大会の情報も。

1回休んで
読んでみて!
テレビ観戦の
お供にピッタリ!

2000年 第11回
シドニー(オーストラリア)大会

1998年
ヨーロッパ以外の都市での初の第7回
冬季大会、長野(日本)で開催

日本初の冬季
パラリンピック!

2018年
第12回大会、平昌(韓国)で開催
3月9日(金)~18日(日)。約50カ国・
地域の選手が参加し、6競技80個の
金メダルを争う。

2020年
パラリンピック22年ぶりに
日本で開催決定
第16回東京大会。世界初の
同都市2度目のパラリンピック。

日本で3回目の
パラリンピック!



ご存知
ですか?

使って便利♪京都市図書館

その9

読んでみいひん? ティーンズレター



各図書館にて、 ティーンズ向け広報誌を絶賛発行中!

京都市の図書館*には、10代の皆さんにおススメの本を集めたティーンズコーナーがあります。館ごとに、ティーンズ向けの広報誌も発行しています。大人が読んで面白いティーンズブックス。それらを紹介する広報誌、ちょっと読んでみませんか?

* こどもみらい館子育て図書館、コミュニティプラザ深草図書館を除く。



リアルティーンズの 「これ読んでみて!」

「生き方探究・チャレンジ体験*」で図書館に来てくれた中学生は、もちろん「本が好き!」。そんなリアルティーンズに、面白かった本をおススメしてもらう記事もあります。「大人が読めっていう本は、読む気が起こらへんもん!」というティーンズも、トモダチが「これめっちゃオモシロかったわ!」という本には、興味津々では?

* 京都市では、中学生が自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を身につけ、集団や社会の一員としての自己の在り方と生き方を考えるきっかけを生み出すため、生徒の興味・関心に応じた勤労体験・職場体験などを行う「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業を実施しています。



表紙イラストに注目!

ティーンズが描いたイラストが表紙になっている広報誌もあります。いつか、ホンモノの本の表紙を飾るデザイナーに成長しちゃうかも?! プレミアがつくかもしれません。ぜひ、見てみてくださいね。



元ティーンズの 「これは10代で読んどいて!」

図書館司書も「本が大好き」という点では、ティーンズに負けていません。そんな「元ティーンズ」が、「10代の内に、これは読んでもらいたい」「自分がティーンズの時に出会いたかった」「これは年齢関係なしに面白い!」…と薦める本の記事もあります。本のプロが太鼓判を押す情報が満載です。読む本に迷った時は、ぜひ参考に!



ティーンズに伝えたい お得な情報も!

図書館の基本的な使い方、便利な使い方、ティーンズ向けの新着図書のお知らせ、ティーンズコーナーの展示案内、ビブリオバトルなどティーンズ向けのイベント紹介など、お得な情報が掲載されていることも! 本が好きな子だけでなく、苦手な子にも「ちょっと図書館に行ってみてもええかなあ?」と思ってもらえるはず!!



リニューアルするホームページも ぜひ見てみて!

2018年2月に、京都市図書館ホームページがリニューアルします。新たに、ティーンズのページができ、各館のティーンズレターを見られるようになります。いつもの図書館と、そうじゃない図書館のティーンズレター。読み比べてみるのも面白いかも!



図書館の本棚から

司書がすすめる

この

1冊

『アウシュヴィッツの図書係』



アントニオ・G・イトウルベ／著
小原京子／訳
集英社

アウシュヴィッツ強制収容所で、ナチスの厳しい監視の中、ひそかに作られた図書館。図書係となった14歳のユダヤ人少女・ディタの収容所での日々を描いた感動の小説です。

本を読むことを禁じられていたアウシュヴィッツ収容所に、収容者たちによって作られた秘密の図書館があった… この小説は、実話を基に書かれています。主人公の少女・ディタは、たった8冊しか蔵書がないこの図書館の図書係を任せられ、懸命に本を守ろうとします。しかし、もしナチスに見つかればガス室送りは免れない、命がけの仕事です。実際、危うい場面があり、読んでいてハラハラさせられました。さらに、死が日常の収容所ではディタの身近で大切な人たちが次々に命を落としていき、とても心が重く暗くなったのも事実です。

そんな絶望の中にあっても、心から本を愛する明るいディタのキャラクターには救われる思いがします。「本を開けることは汽車に乗ってバケーションに出かけるようなもの」という彼女の言葉が心に響きました。収容所という自由のない場所で過酷な生活を強いられているからこそ、彼女にとって本は希望であり、救いであり、安らぎだったのだと思います。この小説は、本の力の偉大さを改めて感じさせてくれる1冊です。やっぱり本って素晴らしい！ 胸を張ってそう言える、そんな本に巡り合えました。(1)

洛西図書館は、自然環境に調和した緑豊かな“まち”としてつくられた“洛西ニュータウン”の中心部、西京区洛西総合庁舎の1階にあります。バス停「境谷大橋」からは徒歩2分ほどです。京都市で11番目、西京区で2番目の地域図書館として昭和62年(1987年)4月の開館以来、日頃から地域の皆様をはじめ多くの方々のご利用とご協力をいただき、昨年30周年を迎えました。



たけのこ島に集まれ!

洛西図書館の幼児コーナーは“たけのこ島”といいます。平成2年に開館3周年を記念して、幼児コーナーの愛称を広く募り、たくさんのご応募の中から名付けられました。図書館行事をはじめ、ちいさなお子さんや親子の集いの場として広く使われています。

☑ 「洛西読み聞かせの会」おはなし会

洛西読み聞かせの会に参加しているグループによるおはなし会を、第1土曜日に行っています。



☆「洛西読み聞かせの会」とは?

洛西地域で読み聞かせ活動に取り組んでいるグループの交流会です。交流を通して、読み聞かせのワザをさらに深め、今後の活動に役立てようと年4回開催しています。

☑ 赤ちゃん絵本をひらく会

第4木曜日の午前11時から、久世保育所の保育士さんによる読み聞かせや手遊びなどを行っています。毎回たくさんの赤ちゃんの笑い声がたけのこ島にあふれています。



☑ お楽しみ会

第3土曜日の午後2時から、紙芝居・絵本の読み聞かせ・工作など親子で気軽に参加できる行事です。



☑ 消防お楽しみ会

奇数月の第3木曜日の午後3時から、西京消防署の消防士さんによる防災についての読み聞かせやアニメ上映をしています。

深まる学校連携!

☑ 学校へのお出張行事

学校へ出向いて、ブックトーク(本の紹介)や絵本の読み聞かせ指導をしています。また、学校図書館の選書会の行事にも参加しています。



新林小学校図書館の選書会に、学校PTA、地域ボランティアの方と洛西図書館司書が選んだおすすめの本を、出前専用軽ワゴン車「青い鳥号」にのせて参加し、児童や保護者の方に実際に手にとって見てもらいました。

☑ 中学生向け広報誌

「としょかんだよりfor teens洛西・西京版」の発行

☑ 小学校児童の作品展示

図書館に親しみを感じていただく取組として、ミニギャラリーに洛西地域の小学校・総合支援学校持ち回りで児童の絵画・書道などの作品を常時展示しています。



平成29年11月

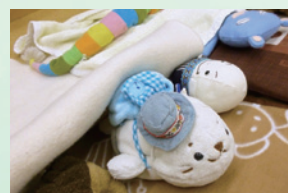
30周年記念行事を実施!



仏像ブックトーク



親子で工作会



ぬいぐるみおとまりかい



クイズラリー参加記念品

児童コーナーリニューアル!

昨年2月にリフォームしたばかりです。





～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものを担当する右京中央図書館の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

各図書館のカウンター窓口・電話・郵便で受け付けています。京都に関することならホームページ経由でも受け付けていますので、お気軽にレファレンスサービスをご利用ください。

三十三間堂という呼び名は……

年末が押し迫ったある寒い日のことでした。「レファレンスをお願いします。」と、一人の男性が颯爽と現れました。

「東山にある三十三間堂はいつからそう呼ばれるようになったのかを知りたい。正式名称は蓮華王院と言うが…」と質問やご自身が知っているらっしゃることをお話になりました。また、急いで調べていらっしゃるとのことで、現在、書架にある資料の中からお探しすることになりました。

まず、“三十三間堂”や“蓮華王院”をキーワードに資料の検索をはじめると、多くが貸出中になっていました。残っていた資料のうちの1冊『古寺巡礼京都 14 妙法院・三十三間堂』に、“早くから”と記載がありました。

次に、京都や寺院に関する事典などを確認しましたが、名称は柱の間数まかずが33あることに由来することや歴史な

どはありますが、呼ばれ始めた時期までは書かれていません。

さらに、新聞記事に掲載はないかと思い、朝日新聞のオンライン・データベース「聞蔵Ⅱ」で検索をするも、手がかりはありません。

他に方法はないだろうかと行き詰っていると、同僚が『京都発見2 路地遊行』を持っててくれました。菅原道真や豊臣秀吉など京都に足跡を残した人物ゆかりの寺社を訪ねた資料で、「妙法院」の項目の「後白河上皇と三十三間堂」に“みどう 当時から「三十三の御堂」と呼ばれた”とありました。

そこへ先程の男性が戻ってこられたので、お調べした内容と資料をご紹介します。

すると、『京都発見2』の内容と著者を確認するなり「やっぱりそうか！梅原先生か！」と喜んでお帰りになりました。

後日、その時貸出中であった『国宝三十三間堂』の内容を確認すると“創

建の当初から”とありました。もう少しお時間があれば他にも資料をご紹介できたかもしれないという少しもどかしい思いと、同僚が持つ知識から、新たな検索の視点などに気づかされたレファレンスでした。



千手観音立像群
提供：妙法院

【参考資料】

- 『古寺巡礼京都 14 妙法院・三十三間堂』
淡交社 1977
- 『京都発見2 路地遊行』
梅原 猛／著 新潮社 1998
- 『国宝三十三間堂 改訂 第6版』
三十三間堂本坊妙法院門跡 2009



「おもしろかった本」

毎年、中学校の生徒さん達が「生き方探究チャレンジ体験」として図書の配架や配送、おはなし会などの行事に参加し、図書館の仕事を体験しています。

今号は、中央図書館で職場体験をされた生徒さんからの寄稿です。

◆ 下京中学校 森下 大也さん

『アイネクライネナハトムジーク』

伊坂 幸太郎／著（幻冬舎）

この本は全 6 作品の短編集となっています。毎回主人公が変わるのは当たり前ですが、第 4・6 作目は話の中でたくさんの人の目線から物語を進めていたり、1 つの作品の中で現在と過去を行ったり来たりするので、なかなか先の展開がよめません。さらに全ての作品の登場人物はつながります。どうつながっているのか考えながら読むと面白いです。先に言いますが、エンディングはありません。つまり、自分で読んでみてエンディングを考えてください。

◆ 松原中学校 飯島 里椰さん

『なんで水には色が無いの？』

五百田 達成／著（文響社）

僕がこの本で一番おもしろいと思った部分は、質問に答えているだけでなく、人に伝える時のポイントや質問から学べることを書いているところです。例えば、「インターネットってなに？」という質問の答えは、「世界のコンピューターネットワークをつないだインフラ」になりますが、人に伝える時のポイントは、「アメリカが始めた小さなネットワークが起源」ということになります。他にもたくさんポイントがあるのでぜひ読んでみて下さい。

◆ 衣笠中学校 熊野 文哉さん

『ボブという名のストリート・キャット』

ジェームズ・ボーエン／著、服部 京子／訳（辰巳出版）

この本は、ホームレスで麻薬中毒者のジェームズと怪我をしていた野良猫ボブが偶然出会い、ジェームズの人生を大きく変える感動の物語である。

僕が好きな場面は、ジェームズが本気で自身と向き合い、周囲にも心を開き、他者との関係も大切にしていたところです。僕はこの本を読み、人は誰でもどんなところからでも立ち直ることができるということを学びました。感動するのでぜひ読んでみてください。

◆ 下京中学校 山田 菜月さん

『この世界の片隅に』

こうの史代／原作、時田 陽平／ノベライズ（双葉社）

この作品は、第二次世界大戦の戦時中を舞台としたお話です。主人公のすずは、広島に呉に嫁いで来た絵が得意な少女です。戦争は進み、たびたび空襲に見舞われる日々でした。ある日、すずの家族が、時限爆弾により亡くなってしまいます。すずも、自分の右手を失い、そこから大きく生活が変化していきます。このお話にたくさんでてくるのは、「ここで生きていく」などの力強い言葉です。すずの強い意志などの変化がとてもおもしろいのでぜひよんでみて下さい。

◆ 二条中学校 兵頭 秀亮さん

『変身』

カフカ／著、高橋 義孝／訳（新潮社）

この本を読んで、最初から最後になるにつれて、悲しくなっていくところに面白さがあるなと感じました。また、始まりが虫になってしまったという変わった始まり方だったので、本の内容を想像しやすく、この後どうなるのかという興味がわきました。

この本を二字で表すならば「絶望」です。今絶望に追い込まれている人やポジティブすぎる人にこの本を読んでもらい、自分の現状と照らしあわせてもらいたいです。

京図ものがたり vol.46

発行
平成30年2月



QRコード

編集・発行

(公財)京都市生涯学習振興財団 財団本部総務課企画係
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3145

ホームページ <https://www2.kyotocitylib.jp/>

携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>



(M)

編◆集◆後◆記
失ったものを数えるな
残された機能を最大限に活かさせ
パラリンピックの父と呼ばれる
ルードウィッヒ・グットマン博士のことばです。
リハビリとして取り入れられたスポーツは、競技として発展し、グットマン博士の理念を胸に、選手たちは自らの限界に挑戦し続けています。
知識があれば、より楽しめます。この特集を傍らに、世界最高峰の障害者スポーツ大会パラリンピック、熱い戦いをお見逃しなく！

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもを共に育む京都市民憲章』を实践しましょう！



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。